

# 競技上の注意

2026年度北海道卓球選手権大会  
(ホープス・カブ・バンビの部)  
第44回北海道ホープス卓球大会  
審判長 松田 正信

現行の日本卓球ルールを適用して実施する。

## 1. ボール、ラバー、ラケット

- (1) 使用球は JTTA 公認プラスチック製 40 mm ホワイト「4 銘柄」とする。ニッタク、ヴィクタス、ヤサカ、バタフライ
- (2) ラバーは、現在 JTTA または ITTF が公認しているものでなければならない。
- (3) ラバーは、公認マークやメーカー商標・ロゴ等がラケット本体のグリップに最も近くはっきり見えるように貼らなければならない。また公認された時の性能に変化を与えるような行為を加えてはならない。ラバーの接着剤は JTTA が公認したものを使用すること。
- (4) ラバーはラケット本体より大きかったり小さかったりせず表面は平坦であること。縁取りテープはラバーの上にはみ出さないこと。
- (5) JTTA が未公認の外国製ラケット本体を使用する場合は、競技開始前に審判長の許可を得る。
- (6) インターバルの間は、ラケットはテーブルの上に置いておくこと。

## 2. サービスについて

- (1) 手のひらにボールを乗せること。投げ上げる前に静止すること。16 cm 以上ほぼ真上に投げ上げ落下途中で打球すること。エンドラインの後方で行うこと。静止から打球までの間、台より下にボールが下がらないこと。

## 3. 競技用の服装について

- (1) 競技用服装は JTTA 公認ワッペンの付いたもの。競技用シャツは、互いに区別できるように2種類以上用意すること。
- (2) 団体戦は靴及び靴下を除き同じものであること。競技用シャツの確認をオーダー交換時に行います。
- (3) ゼッケンは 2026 年度 JTTA 指定のものを着用すること。

## 4. アドバイザーについて

- (1) 団体戦の監督・コーチは役職者登録を出場チームにおいて登録していること。  
また、監督・コーチは必ず役職者章を大会時に腕に付けること。
- (2) 個人戦は試合前に届け出た 1 名のみとする。
- (3) アドバイスはゲーム間の休憩時間、タイムアウト要求時、緊急中断時のみ認められる。

## 5. 促進ルールについて

- (1) 10 分経過で適用。双方の得点合計が 18 点 (10-8、9-9) 以降は 10 分経過しても適用されない。

## 6. マナーについて

- (1) ポイントが決定した後はすぐに次のサービスまたはレシーブの体勢をとりむだな時間をとらないこと。

## 7. 団体戦オーダーについて

- (1) トスにより ABC または XYZ を決める。  
3 名の場合【ABC】①A ②B ③BC ④A ⑤C 【XYZ】①X ②Y ③XZ ④Y ⑤Z  
4 名の場合【ABC】①A ②B ③CD ④A ⑤C 【XYZ】①X ②Y ③WZ ④Y ⑤Z
- (2) オーダーミスがあった場合は「団体戦のガイドライン」(ルールブック付録 3) に従う。

## 8. その他

- (1) タイムアウト制は、団体・個人共に準々決勝以降適用となる。
- (2) 試合前の練習は 1 分間とする。